

令和3年度 福祉保健部長「政策宣言」中間報告

福祉保健部長 小見 光子

○ 令和3年度重要事業

| 事業名 | 新型コロナウイルスワクチン接種事業の推進 |
|-------|---|
| 目標 | 市民の皆様が安全かつ迅速にワクチン接種ができるよう、関係機関と連携し体制確保に努め、計画的なワクチン接種を実施します。 |
| 進捗状況 | 高齢者から順次ワクチン接種を開始し、医療機関での個別接種と集団接種を実施しました。また、小中学校教職員や保育士、受験生や妊婦の先行接種を行うとともに、キャンセル待ち登録等により、高齢者の約9割、全人口の約6割が接種を完了しました。 |
| 今後の対応 | 若者への接種を推進するとともに、3回目のワクチン接種に向けて関係機関と連携し、体制確保に努めます。 |

| 事業名 | 子育て支援の推進 |
|-------|---|
| 目標 | 市内の保育園等において、園児の登降園の管理や保育計画作成のシステム化を図るなど、保育業務のICT化を積極的に推進し、保育士が働きやすい環境の整備を図るほか、孤立しやすく、産前・産後で育児等の負担が多い多胎妊産婦に対し、多胎育児経験者家族との交流会や専門職等による相談会を実施するなど、支援体制の充実に努めます。 |
| 進捗状況 | 保育業務のICT化については、園児の登降園等を管理する保育業務支援システムを12月から稼働するため、導入に向けた準備を進めました。 多胎妊産婦支援については、多胎ピアサポート事業として、専門職による健康相談、ミニ講座、座談会を通して気軽に相談できる場や仲間づくりを促す交流会を、キッズポートいみずで3回開催しました。 |
| 今後の対応 | 保育業務のICT化については、引き続き準備を進めます。 多胎ピアサポート事業については、今後も月1回程度で実施し、支援体制の充実に努めます。 |

| 事業名 | 健康寿命の延伸と認知症対策の推進 |
|------|---|
| 目標 | 慢性疾患とフレイルが混在する高齢者特有の健康課題に対応するため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に取り組むほか、市内の店舗や事業所を「認知症の人にやさしいお店」として登録する取組を行い、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい生活ができるまちを目指します。 |
| 進捗状況 | 保健事業と介護予防の一体的な実施では、訪問や電話による個別相談を行うとともに、高齢者が集う場所で自らの健康状態を理解し行動することができるよう、フレイル予防の教室を実施しました。 |

| | |
|-------|--|
| | また、認知症サポーター養成講座を受講されたお店を「認知症の人にやさしいお店」として登録し、お店にステッカーを配布しました。 |
| 今後の対応 | 引き続き保健事業と介護予防の一体的な実施と認知症対策に取り組み、高齢者の健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を目指すとともに、認知症の人が地域で自分らしく暮らせる地域づくりを推進します。 |

| | |
|--------------|---|
| 事業名 | 相談支援体制の充実 |
| 目標 | ひきこもりや8050問題など複雑化・多様化した社会的課題に対応するため、アウトリーチによる支援を強化するほか、相談者の属性や年代に関わらず、相談を受け止める体制の構築に取り組みます。 |
| 進捗状況 | 令和3年9月から、射水市社会福祉協議会にアウトリーチ支援員を新たに配置し、より丁寧な相談支援ができる体制を整備しました。 |
| 今後の対応 | 射水市社会福祉協議会内に設置した射水市ふくし総合相談センター「すてっぷ」において、ひきこもりや生活困窮等福祉に関する多種多様な相談を受け止めるとともに、地域社会からの孤立を防ぐため、各分野における既存の相談支援体制を活用しながら、関係機関と連携、調整を図ります。 |